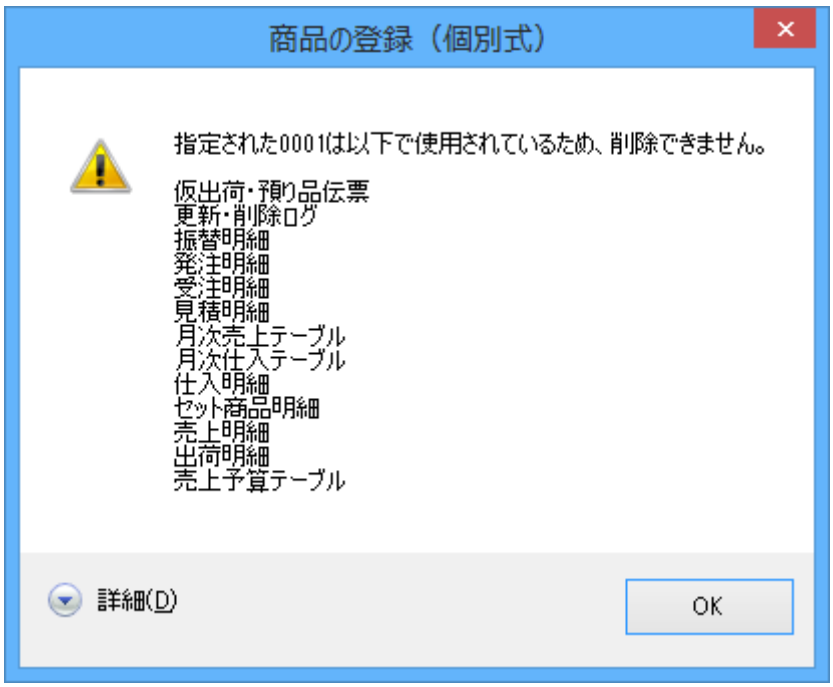
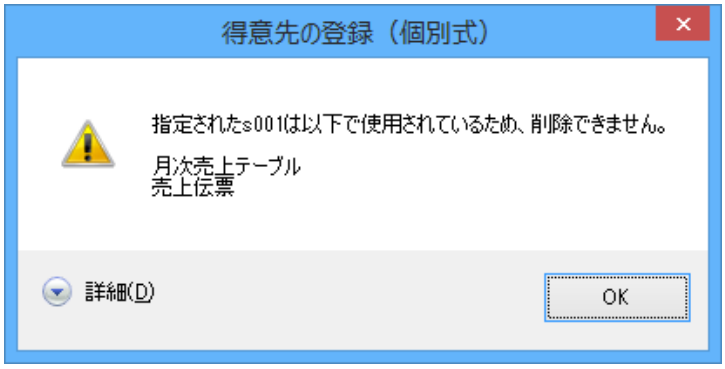
マスターの削除について

使用したことのある得意先や仕入先、商品の登録（マスター）を削除しようとすると、以下のような画面が表示されます。



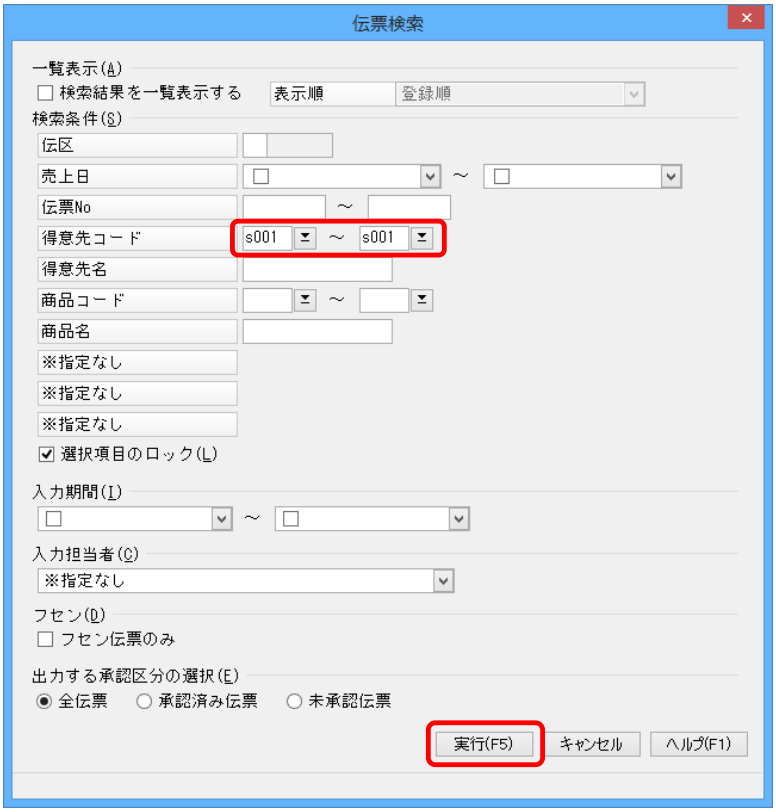
このメッセージは、削除したいマスターが表示の場所で使われていることを示しています。
メッセージに表示されているメニューで削除したいマスターを使っているデータの削除が必要です。
【注　意】削除を行う前に必ずデータ領域のバックアップを行ってください。
　　伝票の削除によって売掛金残高等の金額が変わることが考えられます。

【操作例】
以下の画面が出てきて削除ができない得意先を例にご説明します。
画面より、売上伝票と月次売上データの削除が必要であることがわかります。

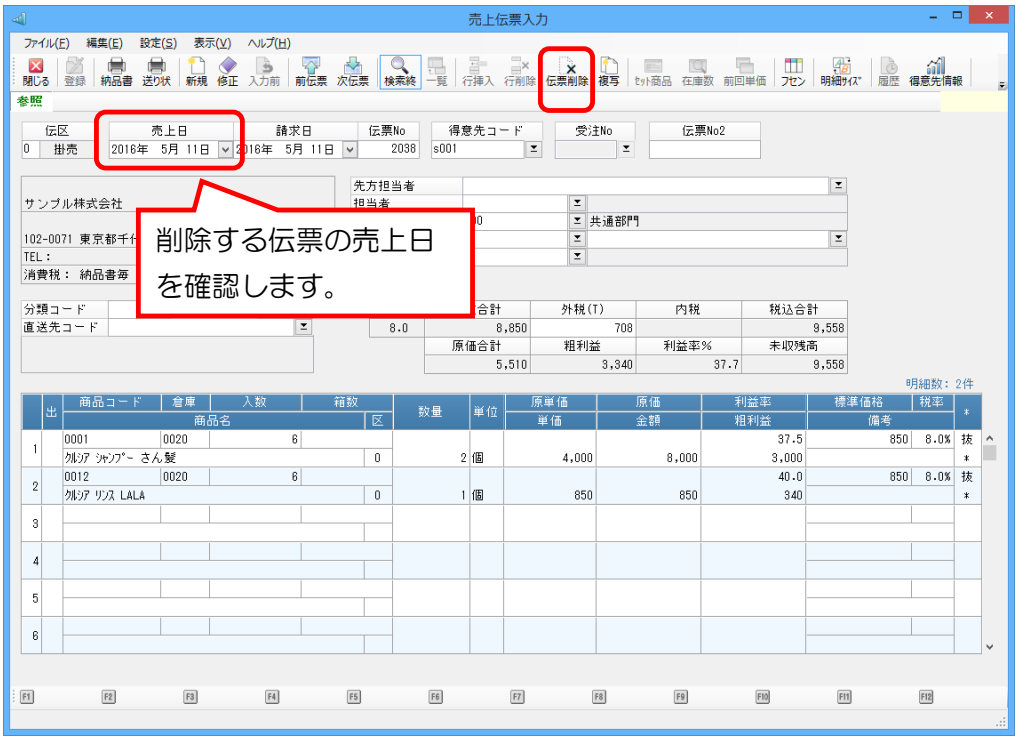


① 事前にバックアップを行います。
② 複数の場所で使用されている場合は、まず〇〇伝票と書かれているものから削除を行います。
　画面より、「販売管理」－「売上」－「売上伝票」を開きます。

③　［検索］ボタンをクリックして開き、削除したい得意先コードを入れて伝票を検索します。

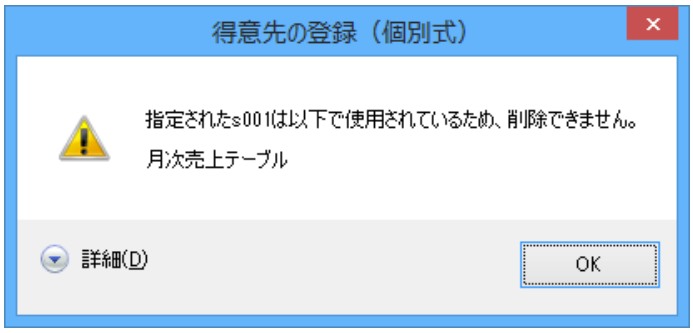


④　表示された売上伝票を削除します。
後で「何年何月～何年何月までの期間に伝票があったか」が必要になりますので確認も行います。



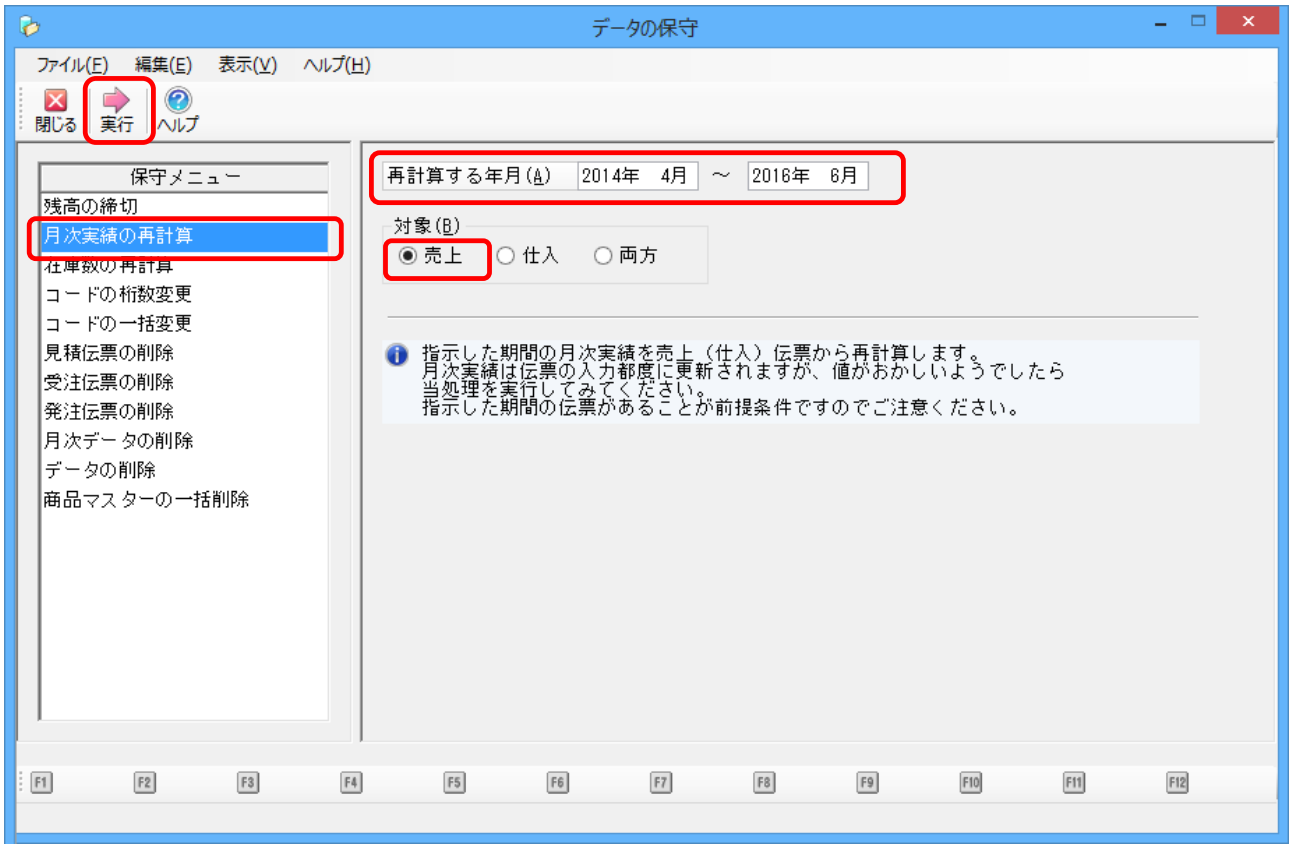
⑤　③の作業を、該当の伝票がなくなるまで繰り返します。
※売上明細表より伝票をズームして削除していくなど、伝票の呼び出し方は自由です。

⑥　ここで再度得意先の登録を削除しようとすると、残りは月次売上テーブルのみになっています。



⑦　「ファイル」－「データの保守」を起動します。

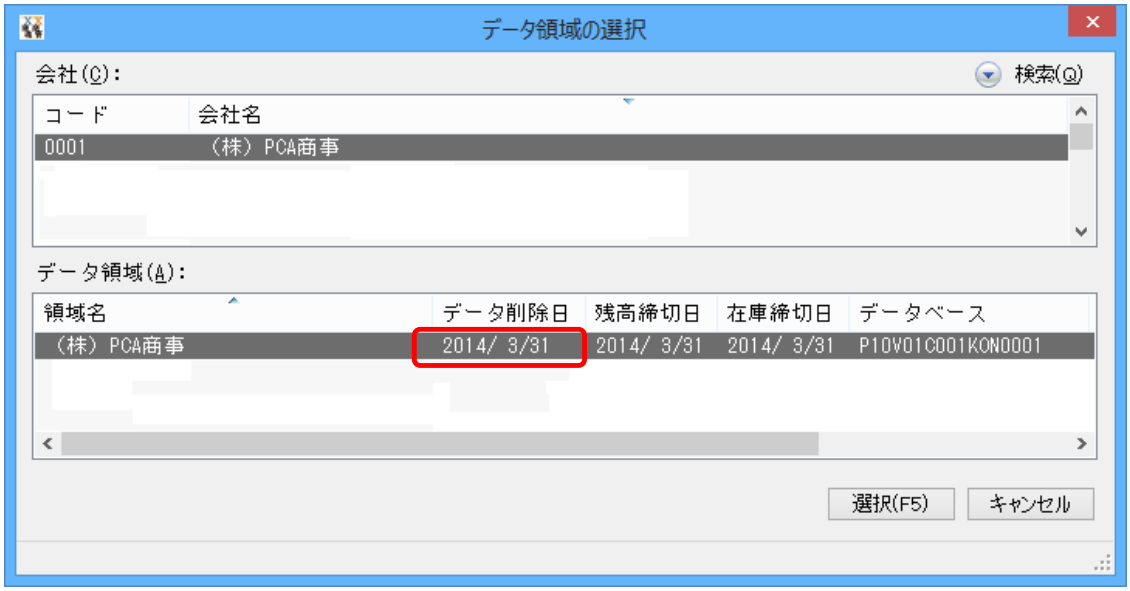
⑧　［月次実績の再計算］を選択し、④で確認していた削除した売上伝票の期間＋前後 1 か月程度を指定し、［対象］を［売上］にし、実行します。
※月次データを手修正している場合、再計算される年月内の修正データはクリアされますのでご注意ください。必要な場合は再計算後、再度修正を行ってください。



⑨　得意先が削除できるか確認を行います。

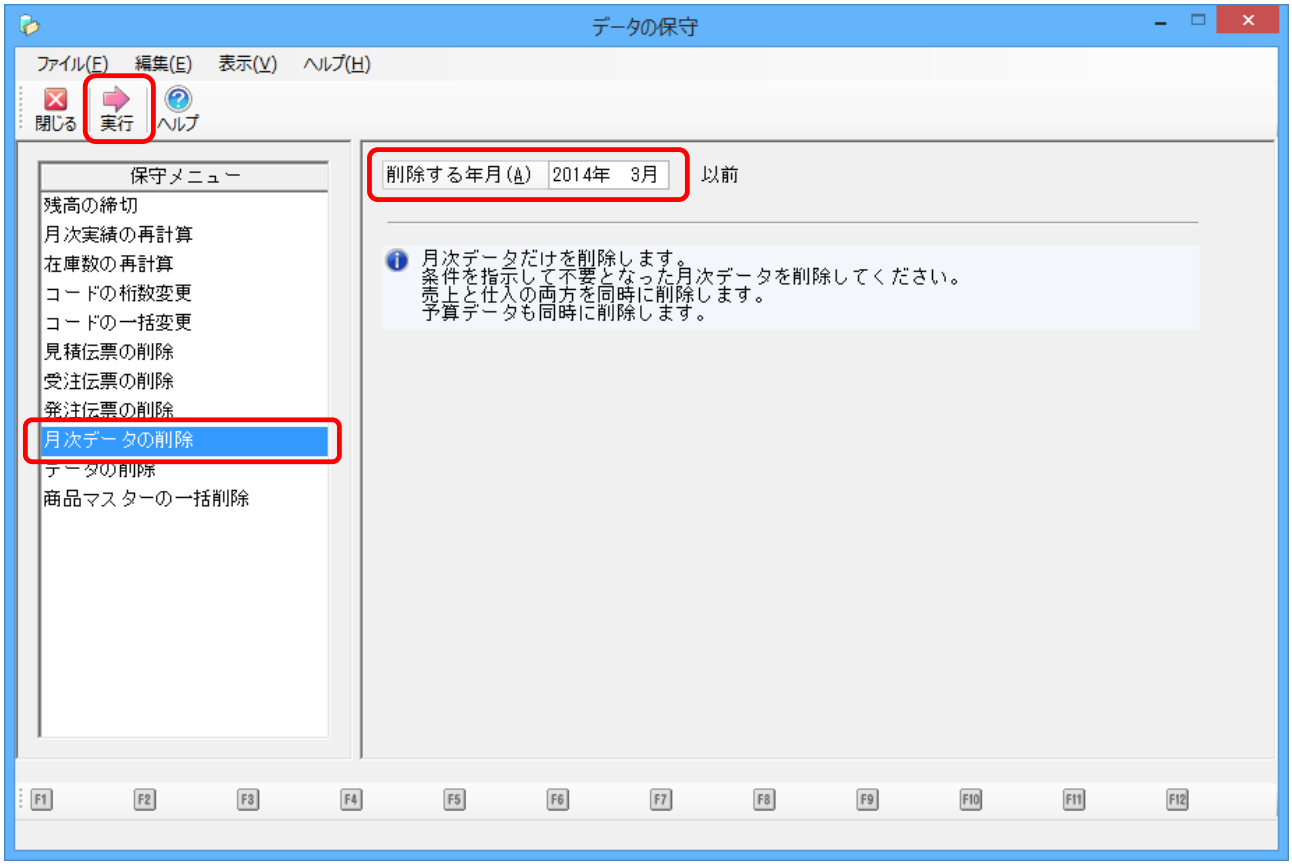
⑩　まだ「月次売上テーブル」のメッセージが出てくる場合は、「月次データの削除」が必要になります。
※「月次データの削除」を行った場合、指定年月以前の月次売上データ、月次仕入データ、予算データの一切が削除されますのでご注意ください。

⑪　「ファイル」－「データ領域の選択」にて、現在使用中の領域の「データ削除日」を確認します。



⑫　「ファイル」－「データの保守」を起動します。

⑬　［月次データの削除］を選択し、［削除する年月］を⑪で調べたデータ削除の年月を入力して［実行］ボタンをクリックします。



⑭　再度、得意先の削除を行います。

作業は以上になります。

【参　考】

［仮出荷・預り品伝票］…仮出荷伝票および預り伝票で使われています。

［更新・削除ログ］…「更新履歴の確認」で使われています。※1

［〇〇明細］…「仕入」「売上」など、伝票の名前が入っているものは該当の伝票で使われています。

［〇〇伝票］…該当の伝票で使われています。

［月次〇〇テーブル］…詳しくは●関連 FAQ：得意先（仕入先）や商品を削除しようとしたら「以下で使用されているため削除できません」「月次売上テーブル」「月次仕入テーブル」と表示され、削除ができません。をご覧ください。

［セット商品明細］…セット商品の登録に使われています。

［売上予算テーブル］…予算の登録があります。

［担当者マスター］…担当者の登録に使われています。

［在庫マスター］…「在庫の登録」に使われています。

※1…更新履歴の削除は該当のマスターのみではなく、指定した日付以前の全ての更新履歴が対象となります。必ず削除を実行す前に［ファイル出力］にて削除予定の全てのデータを外部に保存してください。一度削除を行うと「以前どのような登録内容だったのか」という内容が確認できなくなります。